

Glocal Tenri



3

月刊 グローカル天理 Monthly Bulletin Vol.22 No.3 March 2021

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

CONTENTS

- ・ 巻頭言
環境の整備と布教戦略
／永尾教昭..... 1
- ・ 「おさしづ」語句の探求 (45)
「おさしづ」第6巻における教会事情と「道」
／澤井治郎..... 2
- ・ 日本語教育と海外伝道 (32)
国際化の中での日本語教育③
／大内泰夫..... 3
- ・ イスラームから見た世界 (11)
イスラームと断食②—「聖なる月」への準備—
／澤井 真..... 4
- ・ キルケゴールで読み解く 21 世紀 (最終回)
永遠と不滅性に向き合い、時間性と歴史の中を
生きる
／金子 昭..... 5
- ・ 宗教伝統における聖典の意味構造 (5)
聖典の伝承と伝統的な宗教教育
／澤井義次..... 6
- ・ 遺跡からのメッセージ (67)
大和の文化遺産を学ぶ⑤—法隆寺の東院伽藍と
百万塔陀羅尼
／桑原久男..... 7
- ・ 現代宗教と女性 (30)
第5次男女共同参画基本計画
／金子珠理..... 8
- ・ ニューヨーク通信 (8)
文化協会創立 30 周年を迎えて
／福井陽一..... 9
- ・ 2020 年度公開教学講座要旨：『逸話篇』に学ぶ
(6)
第4講：93「八町四方」
／澤井 真.....10
- ・ おやさと研究所ニュース.....11
伝道研究会「天理教の異文化伝道におけ
る「日本」の語りの問題について」加藤匡
人／第336回研究報告会「国際的な法規
範についての一考察」小松崎利明／第337
回研究報告会「外国につながる子ども・若
者の主体性を育むために」杉山晋平

巻頭言

環境の整備と布教戦略

おやさと研究所長 永尾教昭 *Noriaki Nagao*

海外布教とは、当たり前だが、どの国であろうとその宗教の信仰が伝道先の国の人々によって継承され、拡張されていくことを目指すものだろう。そのためには、その国における教団の拠点が、たとえば日系人の溜まり場のようになり当該国の人たちが入りにくくなってしまったら宜しくないし、同時に国や地域の特性を考慮しての布教戦略（好ましい言葉ではないが）の立案も必要だろう。

天理教の場合、東南アジア、東アジア、アフリカなどは必ずしもそうではないが、いわゆる欧米圏は今なお当該国民に広がっているとは言い難い。その国を統括する教団の拠点（以下本部拠点と言う。規模によって伝道庁、出張所などと称える）が日系人コロニーのようになっていることと、布教戦略が立てにくいことなどもその理由に挙げられる。なぜか。それは、天理教独特の布教方法にもよる。

天理教は日本国内で大きく広がっていったが、教団が特定地域の布教を考えて組織的に布教師を送っていったという例は、ほぼ皆無である。多くは信者が布教目的、あるいは商売などのために、言わば自発的にその地に行き、信仰を伝え広めていった。経済的支援をしたとしても、それはその信者の所属する各地の教会であって教団ではない。天理教の各教会が、それぞれ独立した宗教法人であることもその理由の一つだろう。

海外でも同様である。アメリカも東南アジア各国も、教会などから派遣された布教師、さらにたとえば移民政策、結婚、仕事など様々な理由で渡った信者たちが先にいた。彼らが場合によっては新たな信者を導き布教所や教会を組織していった。とは言っても、多くは一般家庭程度の小さなものであるが、やがて、それらを統括するものとして、本部拠点が設置されるという順序を辿る。例外は、ヨーロッパとコンゴ共和国で

ある。この両者は、ほぼまったく天理教の布教師も信者もないところに、いきなり教団が本部拠点（ヨーロッパ出張所、コンゴブラザビル教会）を設置して布教を開始した。またコロンビアも別の意味で例外と言えるだろう。

加えて、天理教の場合、教団の祭典日（毎月26日、4月18日など）は国内各地の教会は祭典をしない。それは、その日信者たちは「ぢばに帰る」、つまり教会本部に参拝するという信仰があるからだ。余談だが、各教会が独立法人であるにも関わらず、天理教が教団としての団結力が強いのは、このようにぢばに参集するからだだろう。

海外も同様だ。つまり、本部拠点の祭典日は当該国にある各教会や布教所は祭典を避け本部拠点に集まる。そういう規定があるわけではないが、国内に準じて自然のうちにそのようになったと思われる。言い換えれば、本部拠点は海外における教会本部の役割を担っている。

前述のように、もともと日本人布教師や信者が増えてくるに伴い本部拠点が設置され、しかもそこでの祭典に皆が集まるから、いきおい本部拠点は日系人が大勢集まり一種の日系人コロニーのようになる。

そして、これもまた日本国内と同様、海外でも教会や布教所は教団ではなく主に日本の各教会の支援を受け設立しており、当然布教師たちはそこからの指示を受ける。それゆえその国で統一された布教戦略が実際立てにくい。

筆者は、そのことが問題であるとは思わない。ただ自然にできてきたこの仕組みのなかで、当該国の人たちが信仰に入ってもらいやすい環境を整備することと、その国の布教師たちがある程度意思統一して、言葉を変えれば緩やかでも戦略を立てて布教していくことは重要であろう。